



# 374

## 油圧ショベル

# 技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域の Cat® ディーラにお問い合わせください。

## 目次

仕様.....	2
エンジン.....	2
旋回機構.....	2
質量.....	2
トラック.....	2
ドライブ.....	2
油圧システム.....	2
整備交換時の容量.....	2
規格.....	2
騒音性能.....	2
運転質量および接地圧.....	3
主要コンポーネント質量.....	3
寸法.....	4
作業範囲および掘削力.....	6
バケット仕様および互換性.....	7
トラックへの積み込み杯数.....	7
アタッチメント適合ガイド.....	8
標準およびオプション装備品.....	9
ディーラ装着のキットおよびアタッチメント.....	11
374 環境に関する宣言.....	12



オフロード法2014年  
基準適合

# 374 油圧ショベル仕様

## エンジン

エンジンモデル	CAT® C15	
定格出力 (ネット) – ISO 9249	361 kW	484 hp
エンジン出力 – ISO 14396	362 kW	485 hp
内径	137 mm	5.39 in
行程	171 mm	6.73 in
総行程容積 (排気量)	15.2 L	928 in <sup>3</sup>

- 米国 EPA Tier 4 Final、EU Stage V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合。
  - 標高 4,500 m (14,760 ft) まで運転可能。ただし、標高 3,000 m (9,840 ft) を超えるとエンジン出力は低下します。
  - 公称出力は、製造時点で有効な指定規格の下で試験した場合の値です。
  - 表示されている定格出力 (ネット) は、エンジンにファン、エアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
  - エンジン回転数は 1,700 rpm です。
  - CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD (硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料) または次を上限として、より低い炭素強度燃料 \*\* を混合した ULSD を使用する必要があります。
    - ✓ 最大 20% のバイオディーゼル FAME (脂肪酸メチルエステル) \*
    - ✓ 最大 100% の再生可能ディーゼル、HVO (水添植物油)、および GTL (ガス液化) 燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』(SEBU6250) を参照してください。
- \* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100% のバイオディーゼルを使用できます (混合率が 20% を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください)
- \*\* 排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## 旋回機構

旋回速度	6.34 rpm	
最大旋回トルク	247 kN·m	182,000 lbf·ft

## 質量

運転質量	71,700 kg	158,100 lb
------	-----------	------------

- ロング可変ゲージ足回り、リーチブーム、R3.6VB (11 ft 10 in) アーム、SD 3.30 m<sup>3</sup> (3.92 yd<sup>3</sup>) バケット、650 mm (26 in) HD ダブルグローサシュー、および 11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト。

## トラック

標準トラックシュー幅	650 mm	26 in
シューの数 (片側)	47	
トラックローラの数 (片側)	8	
キャリアローラの数 (片側)	3	

## 駆動系

最大登坂能力	35%/75%	
最高走行速度	4.1 km/h	2.5 mph
最大けん引力	491 kN	110,359 lbf

## 油圧システム

メインシステム – 最大流量 – 作業時	896 L/min	237 gal/min
	(× 2 ポンプ)	(× 2 ポンプ)
スイングシステム – 最大流量	247 L/分	65 gal/min
最大圧力 – 装置 – 作業装置	37,000 kPa	5,366 psi
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa	5,076 psi
最大圧力 – 旋回時	35,000 kPa	5,076 psi
ブームシリンダ – 内径	190 mm	7 in
ブームシリンダ – 行程	1792 mm	71 in
スティックシリンダ – 内径	210 mm	8 in
スティックシリンダ – 行程	2,118 mm	83 in
VB バケットシリンダ – 内径	190 mm	7 in
VB バケットシリンダ – ストローク	1,433 mm	56 in
WB バケットシリンダ – 内径	200 mm	8 in
WB バケットシリンダ – ストローク	1,457 mm	57 in

## 整備交換時の容量

燃料タンク容量	920 L	243 gal
冷却系統	71 L	19 gal
エンジンオイル (フィルタ付き)	62 L	16 Gal
旋回ドライブ	20 L	5 gal
ファイナルドライブ (片側)	32 L	9 gal
作動油 (全量)	620 L	164 gal
作動油タンク (サクシオンパイプなど)	326 L	86 gal
尿素水タンク	80 L	21 gal

## 規格

ブレーキ	ISO 10265: 2008
キャブ / オペレータ保護ガード (OPG) (オプション)	ISO 10262:1998 Level II
キャブ / 転倒時運転者保護構造 (ROPS、Rollover Protective Structure)	ISO 12117-2:2008

## 騒音性能

ISO 6395:2008 (外部)	108 dB (A)
ISO 6396:2008 (キャブ内部)	73 dB (A)

- 開放型の運転席やキャブ (適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア / ウィンドウが開いている状態) で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 運転質量および接地圧

	650 mm (26 in) HD ダブルグロースシュー	
	質量	接地圧
	kg (lb)	kPa (psi)
<b>トラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム</b>		
<b>11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト + ロング可変ゲージ足回りベース車両</b>		
リーチブーム + R3.6VB (11 ft 10 in) アーム + 3.30 m <sup>3</sup> (4.32 yd <sup>3</sup> ) SD バケット	71,700 (158,200)	106 (15)
大容量掘削ブーム + M3.0WB (9 ft 10 in) アーム + 4.40 m <sup>3</sup> (5.75 yd <sup>3</sup> ) XD バケット	75,000 (165,300)	111 (16)

すべての運転質量には、燃料タンク 90 % と 75 kg (165 lb) のオペレータが含まれます。

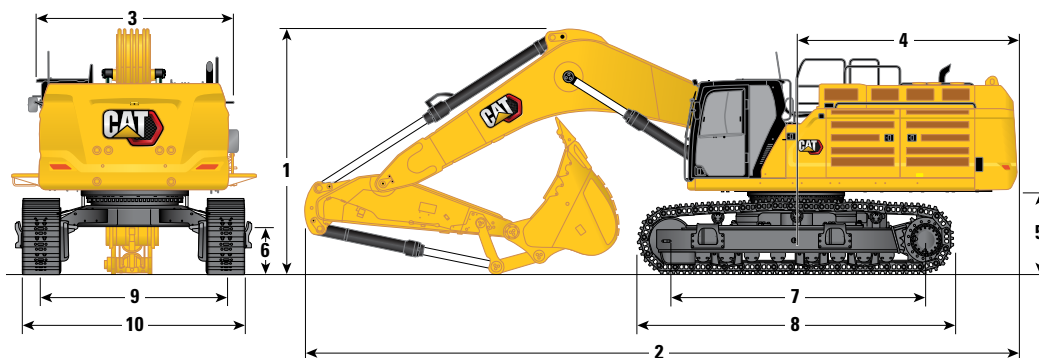
## 主要コンポーネント質量

	kg	lb
ベース車両質量：スイングフレーム、足回り、カウンタウエイト、ブームシリンダを含む。ブーム、アーム、バケット、スティックシリンダ、バケットシリンダ、トラックを含まない。燃料 612 kg (1,349 lb)、オペレータ 75 kg (165 lb) を含まない。作動油 184 kg (406 lb)、尿素水 49 kg (108 lb) を含む		
11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト、スイングフレーム、およびベースフレーム	48,030	105,880
トラックシュー：		
650 mm (26 in) HD ダブルグローストラックシュー	8,220	18,110
ブームシリンダ (2本)	1,400	3,080
燃料タンク 90 % および 75 kg (165 lb) のオペレータの質量	860	1,880
カウンタウエイト：		
11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト	11,240	24,780
スイングフレーム：		
標準スイングフレーム	6,450	14,210
ロング可変ゲージ足回り		
ダブルフランジトラックローラおよびキャリアローラ付きのベースフレーム	18,850	41,560
ブーム (ライン、ピン、スティックシリンダを含む)：		
リーチブーム 7.8 m (25 ft 7 in)	6,960	15,330
大容量掘削ブーム 7.0 m (23 ft 0 in)	7,510	16,560
アーム (ライン、ピン、バケットシリンダ、バケットリンケージを含む)：		
リーチアーム R3.6VB (11 ft 10 in)	3,760	8,280
大容量掘削アーム M3.0WB (9 ft 10 in)	4,400	9,710
バケット (リンケージなし)：		
3.0 m <sup>3</sup> (3.92 yd <sup>3</sup> ) VB 用高強化型	3,740	8,240
3.3 m <sup>3</sup> (4.32 yd <sup>3</sup> ) VB 用高強化型	3,940	8,680
4.4 m <sup>3</sup> (5.75 yd <sup>3</sup> ) WB 用重掘削型	5,950	13,110

# 374 油圧ショベルの仕様

## 寸法

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



ブームオプション	リーチブーム 7.8 m (25 ft 7 in)	大容量掘削ブーム 7.0 m (23 ft 0 in)
アームオプション	リーチアーム R3.6VB (11 ft 10 in)	大容量掘削アーム M3.0WB (9 ft 10 in)

### 1 車両の高さ:

キャブの高さ	3,559 mm	11 ft 8 in	3,559 mm	11 ft 8 in
OPG 高さ	3,702 mm	12 ft 1 in	3,702 mm	12 ft 1 in
ハンドレール高さ	3,982 mm	13 ft 0 in	3,982 mm	13 ft 0 in
ブーム/アーム/バケット装着	4,519 mm	14 ft 9 in	4,902 mm	16 ft 0 in
ブーム/アーム装着	4,287 mm	14 ft 0 in	4,463 mm	14 ft 7 in
ブーム装着	3,896 mm	12 ft 9 in	3,896 mm	12 ft 9 in
ブーム/アーム/バケット装着 (共用配管を含む)	4,555 mm	14 ft 11 in	4,918 mm	16 ft 1 in
ブーム/アーム装着 (共用配管を含む)	4,319 mm	14 ft 2 in	4,496 mm	14 ft 9 in
ブーム装着 (共用配管を含む)	4,033 mm	13 ft 2 in	4,033 mm	13 ft 2 in

### 2 車両長さ:

ブーム/アーム/バケット装着	13,652 mm	44 ft 9 in	12,856 mm	42 ft 2 in
ブーム/アーム装着	13,625 mm	44 ft 8 in	12,702 mm	41 ft 8 in
ブーム装着	11,855 mm	38 ft 10 in	11,011 mm	36 ft 1 in
ブーム/アーム/バケット装着 (共用配管を含む)	13,652 mm	44 ft 9 in	12,856 mm	42 ft 2 in
ブーム/アーム装着 (共用配管を含む)	13,625 mm	44 ft 8 in	12,702 mm	41 ft 8 in
ブーム装着 (共用配管を含む)	11,855 mm	38 ft 10 in	11,056 mm	36 ft 3 in

### 3 上部フレーム幅:

通路なし	3,490 mm	11 ft 5 in	3,490 mm	11 ft 5 in
通路あり	4,508 mm	14 ft 9 in	4,508 mm	14 ft 9 in
通路幅	500 mm	1 ft 7 in	500 mm	1 ft 7 in

### 4 後端旋回半径

	4,171 mm	13 ft 8 in	4,171 mm	13 ft 8 in
--	----------	------------	----------	------------

### 5 カウンタウエイト下端高さ (シューラグは含まない)

	1,494 mm	4 ft 10 in	1,494 mm	4 ft 10 in
--	----------	------------	----------	------------

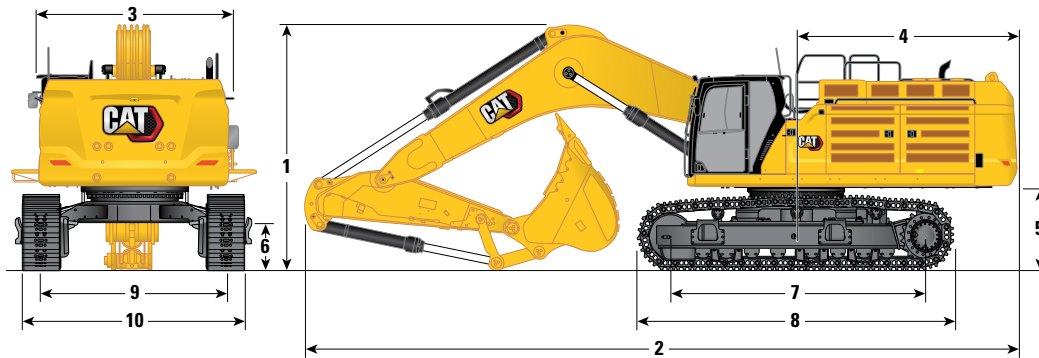
### 6 最低地上高 - シューラグの高さは含まない

	782 mm	2 ft 6 in	782 mm	2 ft 6 in
--	--------	-----------	--------	-----------

(次ページに続く)

## 寸法 (続き)

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。

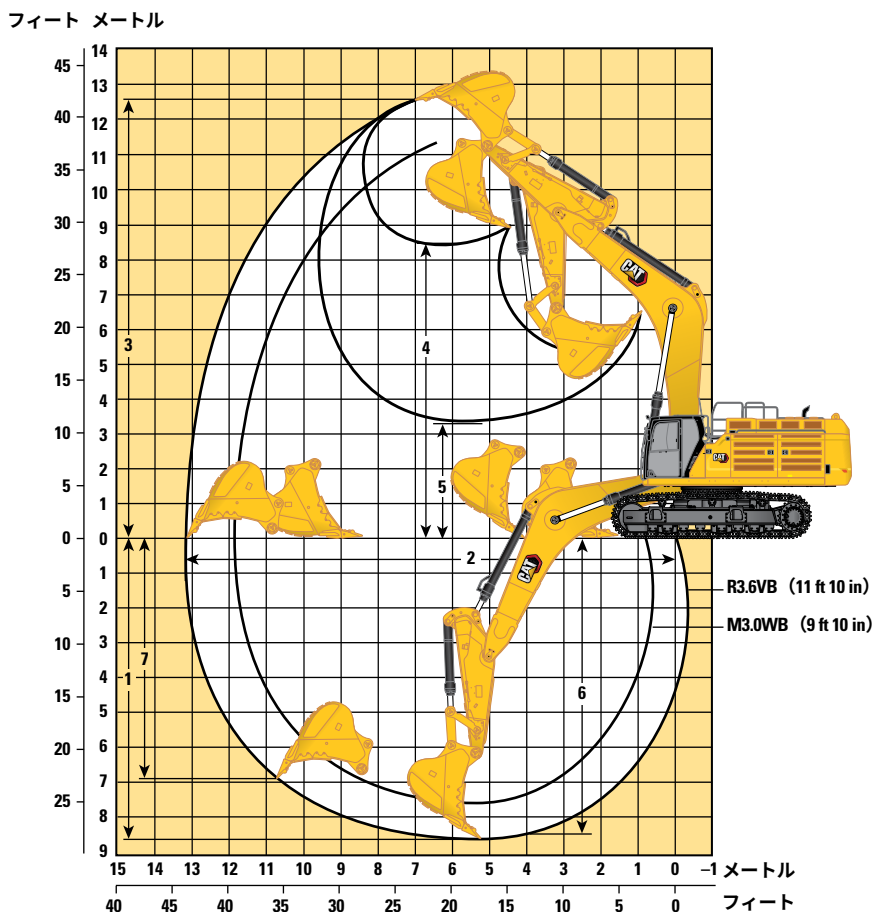


ブームオプション	リーチブーム 7.8 m (25 ft 7 in)		大容量掘削ブーム 7.0 m (23 ft 0 in)	
アームオプション	リーチアーム R3.6VB (11 ft 10 in)		大容量掘削アーム M3.0WB (9 ft 10 in)	
7 タンブラ中心距離	4,705 mm	15 ft 5 in	4,705 mm	15 ft 5 in
8 トラック長さ (ダブルグロースシューを含む)	5,873 mm	19 ft 3 in	5,873 mm	19 ft 3 in
9 クローラ中心距離:				
収縮時 (ダブルグロースシューを含む)	2,750 mm	9 ft 0 in	2,750 mm	9 ft 0 in
延長時 (ダブルグロースシューを含む)	3,410 mm	11 ft 2 in	3,410 mm	11 ft 2 in
10 足回り幅 - 収縮時 (ステップは含まない):				
650 mm (26 in) シュー	3,400 mm	11 ft 1 in	3,400 mm	11 ft 1 in
足回り幅 - 収縮時 (ステップを含む):				
650 mm (26 in) シュー	3,678 mm	12 ft 0 in	3,678 mm	12 ft 0 in
足回り幅 - 延長時 (ステップは含まない):				
650 mm (26 in) シュー	4,060 mm	13 ft 3 in	4,060 mm	13 ft 3 in
足回り幅 - 延長時 (ステップを含む):				
650 mm (26 in) シュー	4,338 mm	14 ft 2 in	4,338 mm	14 ft 2 in
バケットタイプ	SD		XD	
バケット容量	3.30 m <sup>3</sup>	4.32 yd <sup>3</sup>	4.40 m <sup>3</sup>	5.75 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	2,240 mm	7 ft 4 in	2,310 mm	7 ft 6 in

# 374 油圧ショベルの仕様

## 作業範囲および力

すべての寸法は概算であり、バケットの選択により変わります。



### ブームオプション

リーチブーム 7.8 m  
(25 ft 7 in)

大容量掘削ブーム 7.0 m  
(23 ft 0 in)

### アームオプション

リーチアーム R3.6VB  
(11 ft 10 in)

大容量掘削アーム  
M3.0WB (9 ft 10 in)

1 最大掘削深さ	8,570 mm	28 ft 1 in	7,660 mm	25 ft 1 in
2 最大床面掘削半径	13,160 mm	43 ft 2 in	11,860 mm	38 ft 10 in
3 最大掘削高さ	12,550 mm	41 ft 2 in	11,170 mm	36 ft 7 in
4 最大ダンプ高さ	8,430 mm	27 ft 7 in	7,220 mm	23 ft 8 in
5 最小ダンプ高さ	3,310 mm	10 ft 10 in	3,050 mm	10 ft 0 in
6 2,240 mm (8 ft 0 in) のレベルボトムでの最大切削深さ	8,440 mm	27 ft 8 in	7,520 mm	24 ft 8 in
7 最大垂直掘削深さ	6,910 mm	22 ft 8 in	3,970 mm	13 ft 0 in
バケット掘削力 (ISO)	358 kN	80,550 lbf	406 kN	91,330 lbf
アーム掘削力 (ISO)	295 kN	66,390 lbf	322 kN	72,450 lbf
バケットタイプ	SD		XD	
バケット容量	3.30 m <sup>3</sup>	4.32 yd <sup>3</sup>	4.40 m <sup>3</sup>	5.75 yd <sup>3</sup>
バケットチップの半径	2,240 mm	7 ft 4 in	2,310 mm	7 ft 6 in

## バケット仕様および互換性

	幅		容量		質量		充填率	ロング拡張式足回り	
								11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト	
	mm	in	m <sup>3</sup>	yd <sup>3</sup>	kg	lb	%	7.8 m (25 ft 7 in) リーチ	7.0 m (23 ft 0 in) 重量
<b>カプラなし</b>									
高強化型	1,650	65	2.50	3.27	3,009	6,634	90	●	
	1,950	77	3.00	3.92	3,660	8,068	90	●	
	1,750	70	3.30	4.32	3,634	8,068	90	●	
	1,950	77	4.10	5.36	4,821	10,628	90		●
重掘削バケット	2,050	81	4.40	5.75	5,762	12,703	90		◎
ピンオン装着時の最大荷重 (積載質量 + バケット)							kg	10,034	12,678
							lb	22,123	27,955

上記の負荷は油圧ショベル規格の EN474-5:2006 + A3:2013 に準拠しており、フロントリンケージを地上ラインまで完全に伸ばしてバケットを縮めた状態で、油圧リフト能力の 87%、またはチッピング容量 (バケット転倒容量) の 75% を超えないようになっています。

容量は ISO 7451:2007 に準拠しています。

バケット質量は標準デューティチップ装着時のものです。

マテリアルの最大密度:

- 2,100 kg/m<sup>3</sup> (3,500 lb/yd<sup>3</sup>)
- ◎ 1,800 kg/m<sup>3</sup> (3,000 lb/yd<sup>3</sup>)

Caterpillar 社では、製品から最大限の価値を得られるように適切なワークツールを使用するようお勧めしています。質量、寸法、流量、および圧力などに関する、Caterpillar 社の推奨事項や仕様に沿わないワークツール (バケットを含む) を使用すると、生産性、安定性、信頼性、またはコンポーネントの耐久性が低下するなど、最適な性能を得られない場合があります。また、引きずる、てこのようにこじる、ねじる、重量物を受け止めるなど、ワークツールの誤使用は、ブームおよびアームの耐用年数低下につながります。

## 一般的な積込み杯数のマッチングガイド

最大限の生産性と効率を実現するために、最適な性能を得られるよう積込みおよび運搬機械を適合させることをお勧めします。

### コンフィギュレーション\*:

ロング可変ゲージ足回り、リーチブーム、R3.6VB (11 ft 10 in) アーム、SD 3.30 m<sup>3</sup> (4.32 yd<sup>3</sup>) バケット、650 mm (26 in) HD ダブルグロウサシュー、および 11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト。

#### トラックへの定格容量の積込みに必要な杯数

材質タイプ	取扱マテリアル密度	フィルファクター	CAT アーティキュレートトラック							CAT ダンプトラック
			725	730 EJ	730	735	740 GC	740 EJ	745	770G
土	1,600 kg/m <sup>3</sup> (2,700 lb/yd <sup>3</sup> )	100 %	4 ~ 5	5	5 ~ 6	6	7	7	8	7
石灰岩	1,540 kg/m <sup>3</sup> (2,600 lb/yd <sup>3</sup> )	90 %	5	6	6	7	8	8		8

\* 記載された積込み杯数のマッチングは、上記の車両仕様構成、フィルファクター、および一般的な取扱マテリアル密度を反映しています。車両仕様構成、フィルファクター、または取扱マテリアル密度の変更や現場固有の要因が、用途に適した正確な積込み杯数のマッチングの推奨事項に影響を与える可能性があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

### コンフィギュレーション\*:

ロング可変ゲージ足回り、大容量掘削ブーム、M2.92JC (9 ft 7 in) アーム、SDV 6.5 m<sup>3</sup> (8.5 yd<sup>3</sup>) バケット、650 mm (26 in) ダブルグロウサシュー、および標準カウンタウエイト。

#### トラックへの定格容量の積込みに必要な杯数

材質タイプ	取扱マテリアル密度	フィルファクター	CAT アーティキュレートトラック					CAT ダンプトラック				
			735	740 GC	740 EJ	745	770G	772G	773E	773G	775G	
土	1,600 kg/m <sup>3</sup> (2,700 lb/yd <sup>3</sup> )	100 %			3 ~ 4	4	3 ~ 4	4 ~ 5	5 ~ 6	5 ~ 6	6	
石灰岩	1,540 kg/m <sup>3</sup> (2,600 lb/yd <sup>3</sup> )	90 %	3 ~ 4	4	4 ~ 5	4 ~ 5	4 ~ 5	5	6	6	7	

\* 記載された積込み杯数のマッチングは、上記の車両仕様構成、フィルファクター、および一般的な取扱マテリアル密度を反映しています。車両仕様構成、フィルファクター、または取扱マテリアル密度の変更や現場固有の要因が、用途に適した正確な積込み杯数のマッチングの推奨事項に影響を与える可能性があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

# 374 油圧ショベルの仕様

## アタッチメント適合ガイド

地域により、ご使用になれないアタッチメントもあります。お客様の地域でご購入いただける具体的な仕様構成については、お近くの Cat ディーラにお問い合わせください。

適合

\* 作業範囲はフロントのみ

不適合

### ピンオンアタッチメント

足回り	ロング可変ゲージ		
カウンタウエイト	11.24 mt (24,780 lb)		
ブームの種類	リーチ	マス	
スティックの長さ	3.6 m (11 ft 10 in)	3.0 m (9 ft 10 in)	
油圧ブレーカ	H180 S	✓	✓
	H190 S	✓	✓
	H215 S	✓	✓
スクラップおよび解体用モービルシャー	S3070 フラットトップ	✓	✓

### CAT ピングラバカプラアタッチメント

足回り	ロング可変ゲージ	
カウンタウエイト	11.24 mt (24,780 lb)	
ブームの種類	リーチ	
スティックの長さ	3.6 m (11 ft 10 in)	
油圧ブレーカ	H180 S	✓
	H190 S	✓
	H215 S	✓*

### ブーム取付けアタッチメント

足回り	ロング可変ゲージ		
カウンタウエイト	11.24 mt (24,780 lb)		
ブームの種類	リーチ	マス	
スクラップおよび解体用モービルシャー	S2090	✓	✓



## 標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>ブーム、アーム、リンケージ</b>			<b>キャブ</b>		
7.0 m (23 ft) 大容量掘削ブーム		✓	騒音抑制キャブ (ビスカスマウント付き)	✓	
7.8 m (25 ft 7 in) リーチブーム	✓		高解像度 254 mm (10 in) LCD タッチ スクリーンモニター	✓	
3.0 m (9 ft 10 in) 大容量掘削アーム		✓	Cat Grade 用の高解像度 LCD タッチス クリーンモニターの追加		✓
3.6 m (11 ft 10 in) リーチアーム	✓		自動バイレベルエアコン	✓	
バケットリンケージ (VB ファミリ、 リフティングアイなし、CAT GRADE)	✓		モニタ操作用ジョグダイヤルおよび ショートカットキー	✓	
バケットリンケージ (WB ファミリ、 リフティングアイなし、CAT GRADE)		✓	キーレスプッシュスタート式のエンジ ン制御	✓	
<b>CAT テクノロジ</b>			高さ調整可能なコンソール (工具なしで無段階に調整)	✓	
VisionLink®	✓*		チルトアップ式左側コンソール	✓	
VisionLink 生産性		✓	CAT アームステア		✓
リモートフラッシュ	✓		補助リレー		✓
リモートトラブルシュート	✓		自動調整サスペンション、ヒータ、 クーラ装備のシート	✓	
CAT GRADE 接続		✓	幅 51 mm (2 in) のオレンジ色のシー トベルト	✓	
Trimble、Topcon、および Leica が提供 する無線機および基準局との互換性	✓		Bluetooth® 内蔵ラジオ (USB、 補助ポート、およびマイク付き)	✓	
Trimble、Topcon、および Leica の 3D グレードシステムを取付け可能	✓		12 V DC コンセント × 2	✓	
CAT GRADE 2D	✓		書類収納スペース	✓	
CAT GRADE 2D、アタッチメント 対応オプション (ARO) 装備		✓	上部リア収納ネットおよびランチボッ クス収納ネット	✓	
CAT GRADE 3D (シングル GNSS)		✓	カップおよびボトルホルダ	✓	
CAT GRADE 3D (デュアル GNSS)		✓	固定式一体型キャブフロント ウィンドウ	✓	
レーザーキャッチャー		✓	パラレルワイパ (ウォッシャ付き)	✓	
CAT アシスト:	✓		固定ガラスラミネートスカイライト	✓	
- グレードアシスト			LED 車内灯	✓	
- ブームアシスト			フロアウエルカムライト	✓	
- バケットアシスト			ローラ式フロントサンスクリーン	✓	
- スイングアシスト			ローラ式リアサンスクリーン	✓	
- リフトアシスト			リアウインドの緊急用避難口	✓	
CAT PAYLOAD:	✓		フロアマット (水洗い可)	✓	
- 静止計量			ビーコン対応	✓	
- 半自動キャリブレーション					
- ペイロード / サイクル情報					
- USB レポート機能					
ワークツール識別機能 (PL161)	✓				
ワークツール追跡 (PL161)	✓				
オペレータコーチング		✓			
CAT チルトローテータ (TRS) 統合		✓			

(次ページに続く)

\* Connect のサブスクリプションのみ。追加サブスクリプションを利用可能。取扱いについては、お近くの Cat ディーラーにお問い合わせください。

# 374 の標準およびオプション装備品

## 標準およびオプション装備品 (続き)

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
<b>電気系統</b>			<b>安全とセキュリティ</b>		
メンテナンスフリー 1,400 CCA バッテリー (2 個)	✓		CAT Command (リモートコントロール)		✓
集中配置された電気系統ディスコネクトスイッチ	✓		2De フェンス: -e シーリング -e フロア -e スイング -e ウォール -e キャブ干渉防止	✓	
シャーシライト	✓		ブレーカ自動停止機能	✓	
LED ブームおよびキャブライト		✓	Caterpillar ワンキーセキュリティシステム	✓	
<b>エンジン</b>			ロック式外部ツールボックス/ ストレージボックス	✓	
冷間始動用ブロックヒータ		✓	ロック式ドア (燃料タンクおよび 作動油タンクのロック)	✓	
選択可能な 3 つのモード: パワー、 スマート、エコ	✓		ロック式燃料ドレンコンパートメント	✓	
オートマッチックエンジンスピード コントロール	✓		滑り止めプレート付きサービス プラットフォーム	✓	
標高 4,500 m (14,764 ft) まで稼働可能	✓		ロック式ディスコネクトスイッチ	✓	
52 °C (126 °F) の高い周囲温度にも 対応する冷却機能	✓		右ハンドレールと手すり	✓	
寒冷時始動機能 (-18 °C (0 °F) まで)	✓		標準視認ミラーパッケージ	✓	
寒冷時始動機能 (-32 °C (-25 °F) まで)		✓	信号 / 警告ホーン	✓	
油圧リバースファン	✓		トラベルアラーム		✓
プレクリーナエアフィルタ内蔵の 2 重エレメントエアフィルタ	✓		旋回アラーム		✓
3 つの垂直サイドバイサイド冷却システム	✓		グラウンドレベルセカンダリエンジン シャットオフスイッチ	✓	
95 A オルタネータ	✓		リアビューカメラと右側のサイド ビューカメラ	✓	
<b>油圧システム</b>			360° ビューシステム		✓
ブームおよびスティックの再生回路	✓		通路	✓	
電子式メインコントロールバルブ	✓		チルトアップ通路		✓
専用の閉ループスイングサーキット	✓		点検用照明		✓
自動作動油加熱機能	✓		<b>整備とメンテナンス</b>		
オートマッチックスイングパーキング ブレーキ	✓		統合車両状態管理システム	✓	
高性能油圧リターンフィルタ	✓		自動潤滑システム対応	✓	
2 速走行	✓		エンジンオイルフィルタおよび燃料 フィルタをまとめて配置	✓	
作動油およびフィルタ	✓		定期オイルサンプリング (S-O-S <sup>SM</sup> ) ポート	✓	
高度なツールコントロール		✓	電気式給油ポンプ (自動シャットオフ 付き)		✓
油圧効率モニタリング		✓	<b>足回りと構造</b>		
			ロング可変ゲージ足回り	✓	
			ベースフレーム上のけん引用アイ	✓	
			2 ピース全長トラックガイディングガード		✓
			スィベルガード	✓	
			グリース潤滑済みトラック	✓	
			11.24 mt (24,780 lb) カウンタウエイト	✓	
			650 mm (26 in) HD ダブルグロース ラックシュー	✓	
			強化型ボトムガード	✓	
			強化型走行モーターガード	✓	

## ディーラ装着のキットおよびアタッチメント

アタッチメントはこれと異なる場合があります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。

### キャブ

- ツールコントロールのための左 / 右電気ペダル
- デュアルエグジトリアウインドウキット
- キャブフロントウィンドウラミネート加工ガラス (P5A ガラス、EU 解体規制)
- 水平スライダ付きジョイスティック

### 電気系統

- 1,800 lm LED プレミアム周辺照明

### 安全とセキュリティ

- Bluetooth キーフォブ
- 幅 76 mm (3 in) の巻取り式シートベルト
- CAT Command – リモートコントロールキット

### ガード

- OPG (落下物保護システム) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントフルガード (メッシュタイプ) (キャブライトカバー、レインプロテクタには非対応)
- キャブフロントハーフガード (メッシュタイプ)
- 全体盗難防止ガード
- キャブフロントウィンドウ用レインプロテクタおよびキャブライトカバー

### その他のアタッチメント

- GNSS アンテナ

# 374 の環境に関する宣言

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、車両の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html> をご覧ください。

## エンジン

- CAT® C15 エンジンは、米国 EPA Tier 4 Final、EU ステージ V、および日本 2014 年排出ガス基準に適合しています。
- CAT ディーゼルエンジンでは、ULSD（硫黄含有量が 15 ppm 以下の超低硫黄ディーゼル燃料）または次を上限として、より低い炭素強度燃料\*\*を混合した ULSD を使用する必要があります。
  - ✓ 最大 20 % のバイオディーゼル FAME（脂肪酸メチルエステル）\*
  - ✓ 最大 100 % の再生可能ディーゼル、HVO（水添植物油）、および GTL（ガス液化）燃料

適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar 推奨の機械油水類』（SEBU6250）を参照してください。

\* 後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大 100 % のバイオディーゼルを使用できます（混合率が 20 % を超えるバイオディーゼルの使用については、Cat ディーラにお問い合わせください）

\*\* 排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。

## エアコンディショニングシステム

- 当機のエアコンディショニングシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒 R134a（地球温暖化係数 = 1,430）を使用。システムに含まれている冷媒の質量は 1.0 kg（2.2 lb）で、CO<sub>2</sub> 換算で 1.430 メートルトン（1.576 トン）相当になります。

## 塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度（ppm 単位）は次のとおりです。
  - バリウム < 0.01 %
  - カドミウム < 0.01 %
  - クロム < 0.01 %
  - 鉛 < 0.01 %

## 騒音性能

ISO 6395:2008（外部）– 108 dB（A）

ISO 6396:2008（キャブ内部）– 73 dB（A）

- 開放型の運転席やキャブ（適切にメンテナンスがされていない場合や、ドア/ウィンドウが開いている状態）で長時間作業を行うときや、騒音の激しい環境で作業を行うときには、聴力保護具が必要になる場合があります。

## 油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CAT ディーゼルエンジン不凍液/クーラント（DEAC）および CAT エクステンデッドライフクーラント（ELC）は、リサイクルできます。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO™ Advanced は、EU Ecolabel 認証済みの生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

## 機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Cat ディーラにお問い合わせください。
  - スマートモードは、機械のパワーを掘削要件に自動的に一致させます。
  - エコモードは、軽度の用途の場合に燃料消費を最小限に抑えます。
  - 標準装備の CAT テクノロジーにより生産性が向上し、オペレータの作業効率が最大 45 % 向上します。
  - 作動油フィルタにより、交換間隔が 3,000 時間と長寿命になり、従来のフィルタ設計比で 50 % 延長します
  - 必要に応じてエンジンを冷却する高効率油圧ファンにより、燃料消費を削減できます。
  - 延長されたメンテナンス間隔により、コストを削減できます。
  - リモートフラッシュおよびリモートトラブルシューティング

CAT 製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Web サイト ([www.cat.com](http://www.cat.com)) をご覧ください。

© 2023 Caterpillar  
All rights reserved

この製品に使用されるマテリアルと仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。利用可能なオプションについては、Cat ディーラにお問い合わせください。

CAT、CATERPILLAR、LET'S DO THE WORK、それらの各ロゴ、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge" および Cat "Modern Hex" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar 社の商標であり、許可なく使用することはできません。VisionLink は Caterpillar 社の商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき機体質量 3 トン未満の建設機械の運転には事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の終了が必要です。労働安全衛生法に基づき機体質量 3 トン以上の「車両系建設機械（整地・運搬・積込・掘削用）および（解体用）の運転」には登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ2873-05 (12-2023)  
AJXQ2873-04 の改訂版  
ビルド番号: 07D  
(Japan)

